

# 台風第19号への対応、今後の対応力強化に向けて

大型で非常に強い勢力の台風第19号の接近により、最大級の警戒を呼び掛ける大雨特別警報が県内の20市町村で初めて発表されました。県では、県内各地に記録的な大雨と強風をもたらしたこの台風への対応を検証し、次なる災害発生に備えていきます。

## 早期に体制を確立し、県民に呼び掛け

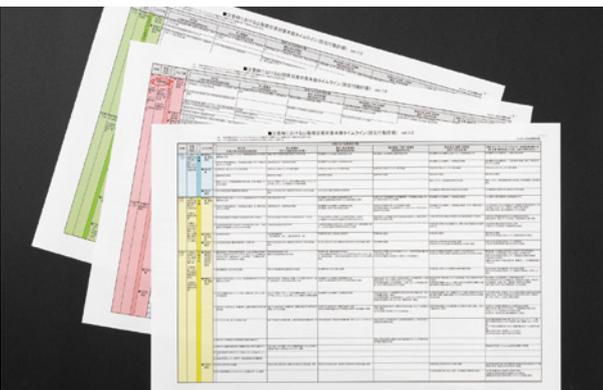
**台** 風第19号の接近に伴い、県では、上陸「前」の準備や点検、台風通過「中」の体制確立、さらに通過「後」の復旧対策の各段階において災害対策本部の各部が取るべき行動を示した「防災タイムライン」に基づき、上陸の見通しとなった早い段階から対応に当たりました。最接近前日の10月11日には、交通途絶などの恐れがある6町村に現地連絡員として職員を派遣し、被災状況や課題の把握などに努めました。同日の記者会見では、知事が県民に対し、不要不急の外出を控え、厳重な警戒をし早期の避難を心掛けるよう呼び掛けました。最接近した10月12日には、平成26年2月の豪雪災害以来となる災害対策本部を上陸前から設置。知事を本部長とした災害対策本部には、県職員約1200人のほか陸上自衛隊、甲府地方気象台、国土交通省、林野庁などの職員も参加し、市町村の被災状況把握や警戒に努めたほか、県民からの相談などに終日対応しました。

部局長ら約40人による災害対策本部員会議は2日間計4回開催され、甲府地方気象台による台風の進路や影響の説明、各部局長などからの災害対応状況の報告を受けた知事は、警戒、復旧に当たつての国や市町村、医療機関との連携、県民への適切な情報提供などを指示しました。

また、県ホームページやツイッターでも、知事による県民への呼び掛けや、災害関連情報を随時発信しました。



部局長らを集めて開催した災害対策本部員会議



災害対策本部の各部が取るべき行動を示した「防災タイムライン」



会議で本部員に指示を出す長崎知事

## 最速・最短での災害復旧を目指して

### 東

日本に甚大な被害をもたらした台風第19号は、県内にも深い爪痕を残しました。土砂崩落による中央自動車道の通行止め、法雲寺橋の損壊による国道20号の通行止め、J・R中央本線の四方津駅～梁川駅での土砂流入による運転見合わせなどは県民生活の大きな支障となりました。こうした中、通過後の10月13日、知事は直接、市町村長に連絡するとともに法雲寺橋を視察するなどし、自ら甚大な被災状況の把握に努めました。



10月13日、損壊した法雲寺橋に駆け付け、説明を受ける長崎知事

設置し、孤立集落の解消、仮設道路の設置などに迅速に着手しました。一方で首都圏の大学などに宿泊して通学することを余儀なくされた学生に対する宿泊費の助成や、住宅が損壊し、居住が困難になった被災者に家賃や敷金を免除した上で県営住宅を提供する支援策なども打ち出しました。

さらに、10月17日には内閣府や国土交通省、J・R東日本などを訪問し、中央自動車道や国道20号、J・R中央本線の早期復旧や県が行う災害復旧事業に対する支援などを要請しました。

12月定例県議会で成立した補正予算には、台風第19号で損壊した各種インフラの復旧のための経費をはじめ、被災した中小企業や農業者が行う施設の再建、修繕に対する助成、県内宿泊を伴う旅行商品の割引による観光需要喚起策への助成に要する経費などを計上しており、今後県民生活や県内経済の回復に全力で取り組んでいきます。



平将明内閣府副大臣へ被災状況を説明

## 今後の災害対応力強化のために

### 今

回の台風第19号で県内に目立った人的被害がなかったことは幸いでしたが、県では災害対応について直ちに検証を開始しました。県庁各部署をはじめ、市町村や防災関係機関などにアンケートを実施するとともに、意見聴取を行って課題を洗い出し、さらなる体制の強化に努めていきます。

大規模災害が発生した際には、多く



県臨床検査技師会、関東甲信越臨床検査薬卸連合会と協定を締結

の被災者が長期間の避難所生活を余儀なくされることが想定され、エコノミークラス症候群の発症やインフルエンザの流行防止など被災者の健康管理に留意することが重要です。このため県では、臨床検査を行う人材の確保や臨床検査薬などの供給体制の構築を目指し、県臨床検査技師会、関東甲信越臨床検査薬卸連合会と協定を締結しました。今後、協定に基づき避難所に派遣される臨床検査技師が、補給された機器や検査キットを使用して迅速に避難者の健康管理を行うことが期待されます。都道府県が地元の臨床検査技師会とこのような目的で協定を締結するのは全国初のことです。

県では今後も、大規模災害に備え、被害を可能な限り未然に防ぐとともに、発生した被害に早期に対応できるように、注意深く、丁寧なさまざまな取り組みを進めていきます。県民の皆さんも、災害への意識を常に持ち、適切な避難行動などについて、改めて確認を行ってください。

# 山梨県の職員数・給与のあらまし

平

成31年4月1日現在、およそ1万3千人の職員が県民生活と密接に関わる仕事に携わっています。福祉・保健、環境、産業振興、基盤整備などの一般行政部門をはじめ、県立高校や市町村立小・中学校、警察など、県のさまざまな分野で働く職員の数や給与の状況をお知らせします。

## 職員数の状況

行政改革大綱に基づき、平成23年4月1日までに組織や事務・事業の見直しなどを行い、職員数の削減に取り組みました。平成31年4月1日現在、総職員数は前年比96人減の1万2863人となっています。

## 給与などの状況

職員の給与は、県内の民間企業における従業員の給与、生計費、国や他の都道府県における職員の給与などを調査・研究した人事委員会からの報告と勧告を踏まえ、県議会の審議を経て、条例で定められています。

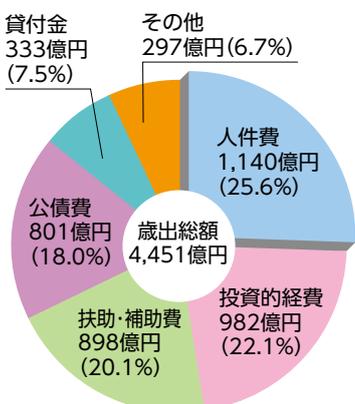
### ●年度別部門別職員数

(各年4月1日現在) (単位:人)

区分	年度	H27	H28	H29	H30	H31
総職員数		13,125	13,043	12,962	12,959	12,863
一般行政		3,054	3,037	3,019	3,029	3,020
教育		8,019	7,939	7,869	7,838	7,759
警察		1,945	1,960	1,966	1,976	1,969
公営企業等		107	107	108	116	115

### ●歳出に占める人件費の状況

(平成30年度普通会計決算)



平成30年4月1日現在の一般行政職の給料は、国家公務員の水準を100とした場合、100.3となっていて47都道府県中20位です。平成30年度普通会計決算における人件費の歳出額は1140億円で歳出全体の25.6%となっています。

## 先輩職員が語る! 山梨県職員採用ガイダンス

職種別に先輩職員が業務内容や仕事のやりがいなどを説明します。

	東京	山梨
日時	令和2年3月8日(日) 午後1時30分~4時30分	令和2年3月10日(火) 午後1時30分~4時30分
会場	新宿NSビル3階 3-J-3-K会議室(新宿区)	県立図書館1階 イベントスペース(甲府市)
対象	県職員として働くことを希望または検討している方(本人に限ります)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度職員採用試験日程・試験制度などの説明</li> <li>新採用職員・中堅職員・女性職員による職場体験談</li> <li>専門職職員による職種別業務説明(行政以外)</li> </ul>	
定員	行政:80名 行政以外:40名	行政:120名 行政以外:80名
申込受付	令和2年2月3日(月)~2月28日(金)	
申込方法	山梨県電子申請サービス『やまなしくらしねっと』から	

※詳細は、職員採用サイトをご覧ください!

【問い合わせ先】

人事委員会事務局 TEL 055-223-1821 FAX 055-223-1819

山梨 採用 検索

### ●平均給料月額および平均年齢の状況

(平成31年4月1日現在)

一般行政職	平均年齢43.2歳	336,380円
小・中学校教育職	平均年齢43.5歳	363,091円
高等学校教育職	平均年齢45.8歳	385,926円
警察職	平均年齢36.9歳	315,487円

### ●初任給の状況

(平成31年4月1日現在)

区分	給料	
一般行政職	大学卒	188,604円
	高校卒	154,147円
小・中学校教育職	210,668円	
高等学校教育職	210,668円	
警察職	大学卒	215,705円
	高校卒	183,062円

### ●特別職の給料月額などの状況

(平成31年4月1日現在)

区分	給料・報酬
知事	1,250,000円
副知事	960,000円
議長	910,000円
副議長	820,000円
議員	770,000円

【問い合わせ先】

人事課・職員数については TEL 055-223-1372 FAX 055-223-1379  
給与については TEL 055-223-1373

## ワインをはじめとした山梨の魅力を発信 本県ゆかりの著名人2名をワイン県副知事に任命

**山** 梨といえばワインという強いイメージを活用し、国内外へ山梨を印象づけることを目的に、県では、令和元年8月「ワイン県」を宣言しました。

宣言を機に、ワインをはじめとした本県の魅力をさらに広く発信するため、10月、本県出身の作家で、ワイン愛好家としても知られる林真理子さんをワイン県副知事に任命しました。県庁での就任式を終えた林さんは「多くの有名人を山梨に連れてきて、ワイナリーなどを見せたい。故郷のために一生懸命頑張る」と意気込みを語りました。



ワイン県副知事に就任した林真理子さん

また、11月には日本を代表するソムリエとして日本ワインブームをけん引している、日本ソムリエ協会会長の田崎真也さんを2人目のワイン県副知事に任命しました。東京都内で行われた就任式で田崎さんは「山梨にはワインをはじめとした地域資源が数多くある。ワインだけにとどまらず、さまざまな魅力をたくさんの人に発信したい」とあいさつしました。

県では、今後も、ワインをきっかけに、山梨を訪れる観光客が増え、山梨の食や伝統工芸などの魅力を発見していただけるような取り組みを広く展開していきます。



ワイン県副知事に就任した田崎真也さん

## 県産木材の普及促進を目指す

**山** 梨県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県です。

この豊かな森林資源のさらなる利用促進を図るため、県や林業・木材産業、建築業、商工関係団体など10団体で構成し、長崎知事を会長とする「Yamashashi・ウッド・チェンジ・ネットワーク」を設立しました。

設立総会では、「チェンジ」をキーワードに、燃えやすく、耐震性に劣るといった木造のイメージを変え、民間企業の建築物に県産木材を取り入れてもらうための取り組みなどについて協議しました。

再生可能な資源である木材を積極的に活用することで、地域経済の活性化、そして、環境や経済などが好循環する持続可能な社会の実現が期待されます。



恩賜林記念館において開催した設立総会

## 陸上養殖で 内水面漁業に新たな活力を

**県** は、西桂町内で新たに陸上養殖事業に参入するNESIC陸上養殖株式会社、西桂町の4者間で地域活性化に向けた協定を締結しました。

NESIC陸上養殖株式会社は、今後、西桂町内に陸上養殖施設を建設し、富士北麓の良質な地下水を利用して、トラウトサーモンの養殖を手掛けることになっており、これを機に、新たな地域産業の振興や雇用の拡大など、地域の活性化が見込まれます。

県では、今後も、県内の良質な水などを生かした内水面漁業のさらなる発展を目指します。



締結式で手を取り合う長崎知事ら